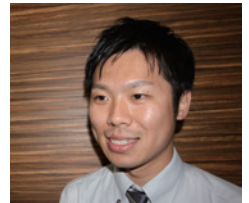


バイキング形式を採用する郊外店が POSシステム導入



▲カラオケウェアハウス瑞穂店
店長 近藤政寛氏

バイキングが人気の郊外店 食べ放題・飲み放題1,400円

東京・多摩の瑞穂町に2018年4月28日、「カラオケウェアハウス瑞穂店」がオープンした。経営にあたるのはDVD・CDレンタルショップ「ゲオ」やリユースショップ「2nd STREET」などを展開する(株)ゲオホールディングス子会社の(株)ゲオ。同社にとってカラオケ店は、カラオケウェアハウス入谷店(足立区)、カラオケウェアハウス三橋店(さいたま市西区)につぐ3店舗目となる。

ゲオが展開する既存カラオケ店はいずれもアミューズメント施設との複合施設でルーム数は60室を超え、立地は郊外型を基本としている。瑞穂店についても埼玉県入間市と東京都福生市を結ぶ国道16号線沿いのロードサイドに立地。も



▲充実した飲食を提供するバイキングコーナー



▲カラオケルームは10室増設を実施

ともと他社が経営していたカラオケ店の空き物件をリニューアルしたもので、開業にあたっては20室から30室へとルーム数を10室増やしている。

カラオケウェアハウスの営業面での特徴は、飲食にバイキング形式を採用している点だ。料金システムは室料、バイキング料金(食べ放題・飲み放題、酒+バイキング、ソフトドリンク、酒+ソフトドリンクの4コース)から構成されるが、室料のみでの利用や飲食の持込みも可能。瑞穂店の場合、平日フリータイム(6時間)の料金は、室料500円、食べ放題・飲み放題(ソフトドリンク類)が900円、計1,400円とリーズナブルな設定となっている。

他社POSシステムと比較検討 見やすさ、操作性からスターランドに

カラオケウェアハウス瑞穂店のオープンにあたっては、ウェアハウスの既存カラオケ店で導入実績のある(株)スターランドの「スーパースター」シリーズをはじめ他社のPOSシステムも候補にあげ、比較検討を行なった。その結果、導入したのがスターランドの「スーパースター」シリーズであった。同店店長の近藤政寛氏は、次

のように語る。

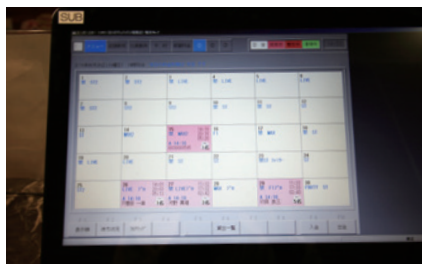
「スターランドさんのPOSシステム導入の決め手になったのが、モニター画面の見やすさです。どの部屋にお客さまが何人いて、どのコースを利用しているのか、モニター画面を見たときにルームの稼働状況が非常に把握しやすくてできています。また清掃中の部屋なども一つの画面で確認できます。そして操作が非常にしやすいことも選んだ理由のひとつです。当店では総勢15人のパート・アルバイトが働いていて、なかにはパソコン操作が苦手な人がいますが、みなさんPOSシステムを使いこなしています。スタッフ一人ひとりにPOSシステムの使い方を教える立場からしても、操作性のよさは円滑な店舗運営につながるの、非常にありがたいです」。

同店ではバイキング形式での飲食提供を基本としているため、ルーム内には飲食オーダー端末は設置していない。カラオケルームでは、ドリンク類のオーダーのみをインターフォンで行なっている。

同社では、郊外ロードサイド立地におけるバイキング形式のカラオケ店について、今後も積極的に出店を行なっていく方針だ。

「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けバージョンがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。



▲画面の見やすさが好評のスーパースターシリーズのPOSシステム

問い合わせ
(株)スターランド

[本社] 静岡県藤枝市青木3-14-1

[東京オフィス] 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21

[大阪オフィス] 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24

☎ 0120-007-009

FAX ▶ 054-644-5034

URL ▶ <http://www.starland.co.jp>